

うまれたひのわたしへ

Hiroyuki Yamada

【登場人物】

A B C D E

◎

どこかよそよそしい5人がいる。

おのおの、スマホをいじっていたり、文庫本を読んでもいい。

やがて一人のものが立ち上がり、視線を下の方に向けてしゃべり出す。

どうやら5人がいるのは、中二階のようなところであるらしい。

A あ、お母さんだ。さすがに若いな。

B (興味を示し立ち上がって横に立ち)どこ？君のお母さん。

A あそこ。

B お腹、とっても大きいねえ。

A 本当だね。

B お母さんのお腹の中にいる君ー、元気に生まれてきてね。

うぶ声を元気にあげるんだよ、君ー。

A 応援、どうもありがとう。いま、入っていったのは、分娩室？

B そうだね。

A じゃ、もうすぐ、生まれるんだね、私。

そう。もうすぐ生まれてくるんだよ、君。
楽しみ。

お父さんは？

ちようど、仕事で遠くに行っていたんだって。高速道路を飛ばして向かったらしいけど、渋滞があつて、結局、間に合わなかったんだって。

へえ。

君のお母さんはどこ？もう病院？

まだ来てないと思う。

じゃ、まだ家なの？

たぶんそうかな。自分が生まれたのは、日付が変わるギリギリのタイミングだったから。

そうなんだ。

産道が開かなくちゃダメなんだよ。

知ってる。

(気が付くと横に立っていて)お母さんだ。お父さんもいる。

どこ？

ほら、あそこ。

あの二人か。

なんか、二人とも緊張してる。お父さんの髪の毛もフサフサ。

今は？

ツルツル。

はは。

君、長女？

うん。そう。

だからだ。最初の出産じゃあ、緊張もするっしょ。

だよね。

私は上に姉がいるの。

だから、お母さん、少し余裕あったのか。

A そんなふうに見えた？
B 見えたよ。

A でも力強いよね。やっぱり、お父さんが一緒にいてくれると。お父さんがいても、何もできないから、別によかったのよ、いなくても、出産のときは、っってお母さんは言うけど。

C 結局、離婚したけどね。

B マジ？

C マジで。

A 悲しいね。

C 二人にもこんな時期があったんだって、教えてあげたいね。今となつては、もう遅いけど。

B でも、少なくとも、君は暖かく見守られてこの世に誕生したってことは、あの二人を見ればわかるよ。
C まあ、そうだね。

D (知らない間に横に立ち) なんで別れたの？

B お、いきなり登場。

C わからない。もうずいぶん前のことだから。私がまだ、小さかった頃。

D でも、よく、ぐれずに、ここまで成長したね。

B 二人は友達？

D いや、初対面。

B それで、よく、ぐれなかった、っつてわかるね。ぐれてるかもしれないでしょ、内面は。

D だって、そう思わない？見た目で。どうみても、ぐれてるようには見えないよ。お嬢様風だし、どこか。

B 見た目じゃわかんないでしょ。で、実際、どう？ぐれてるの？あなた。

C どう？って言われても。そりゃ、いろいろ複雑なことはあるけど、どうかな。ちよつとぐれてるかな、わたし。

B 例えば？どんなとこ、ぐれてる？

C うーん、時々、悪いこととかしたくなるかも。
D それわかる。

C お酒、飲んでみたりする。

D 酒は別に悪くないでしょ。

C あと、声かけられた人に、付いていったりする。

A それは、やめな。危険だよ。

C 危険ってわかっててやってるんだよ。

D ホテル行ったりするの？

C そこまでは、さすがに。ご飯食べたりすることはある。

B いいんじゃない。悪いことじゃない。出会いだよ、ひとつの。

C あと、お母さんが、今は再婚してて、その人との間に子どもができて、だから、それは私の弟なんだけど、あんまり似てないとか、そういうことに直面したりすると、ぐれたくなる。

B どのくらい似てないの。

C お母さん、外国人と再婚したんだよね。それで、黒人なんだよ。

B おお、そう来たか。

C だから、ぱつと見、相当違うわけですよ。肌の色も、髪の色も。よく見ると、目元とか、ちよつと似てるかもって思えるけど、ぱつと見、まあ全然違う。

D なんかも、超、いじめられそうだね。そのシチュエーション。

B だね。

C 実際、いじめられるよ。あいつ、お前の弟ってほんとかよ、まじか、笑えるし、とか普通に言われる。

D 餌食だよ、餌食。

C まあね。

A じゃあ、君は、新しいお父さんと今は一緒に暮らしているの？

C
今は、ひとり暮らし。それにどうしても、お父さんって呼
べないんだよね。

D
複雑だね。

A
君のお母さんは？

D
まだ。

A
まだって、君も、日付の変わるギリギリのタイミングで生
まれたの？

D
そうじゃなくて、じきに救急車で運ばれてくると思う。
え？どういうこと？

D
いや、家で破水しちゃったみたいなんだよね。私。ってい
うか、私のお母さん。

A
そうなんだ。

D
そのとき、家に車もなかったし、お父さんが慌てて救急車
呼んだみたいで。近所じゃ、きっと私に何かあったんだ、
って噂になったらしくて、生まれて家に連れて帰ったら、
近所の人、みんな会いに来たらしい。「よかったねえ」「よ
かったねえ」って言うてくれたんだって。

B
まあ、奇跡だからね、ある意味。出産って。

C
まず、両親がどこかで出会う。

B
そして、惹かれ合う。

D
それから、営みがある。

B
営みって（笑）

A
何億個の精子の中から選ばれたものだけが、たどり着く。

C
卵子へ。

C
膣内は、細菌やウイルスから守るために、酸性に保たれて
いる。

D
精子の99%は、その酸にやられて死滅する。

B
奇跡だ。

A
奇跡だね。

B
っていうか、みんな、あのパンフ読んでしょ？待合室に
あったやつ。だって、詳しくすぎるもん。

C 読んだ。はじめて知った。

D 読んだ。驚いた。

A 読んだ。改めて、すごいんだなって思った。人の身体って、
生命の誕生って。

D 可愛いよね。精子くんって。いつか私の卵子にも、誰かの
精子くんがアタックしてくるのだろうか、なんて考えたり
した。

B なんか、その表現、嫌だな。

D そう？

B なんかね。

そのうち、最初から座りっぱなしのEにAが気づく。

A 始めまして。

E 始めました。

A よかったら、君も加わらない？

E え？でも。

B おいでよ。

A ね。同じ病院で同じ日に生まれたメンバーでこうして集ま
るなんて、そうあることじゃ、ないし。

E だけど、私、

D (あるカップルに気づき) あれ・・・あの二人。

C なんか、寂しそう。

D どうしたのかな。

C どうしたのかな。

E たぶん私の両親です。

A、Eの両親を見て、

A どこ？

D ん？あそこ。

B ほんと、何か、寂しそう。

A 何かあったの？

E 私、生まれてこなかったんです。

B え？

E いろいろあって、生まれてこなかったんです。いや、生まれてこなかった、っていうのは違うかな。生まれたけど、すぐに死んだんです。というか、殺されたんですね。

A それって・・・

B ひどいね。こんなに可愛い子を。

D ほんとだね。

C それ、殺すっていうのは、違うんじゃない？

D だって、そうじゃん。わざとでしょ。

C そうだけども、それぞれに事情っていうのがあるでしょ。

D いや、どんな事情があっても、ダメでしょ。倫理的に。

A そうだよ。他人がいろいろ言うべきことじゃないよ。

D 甘やかし過ぎ。多様性だとか、生き方は自由だとか最近よく言うけど、それってただの言い訳にしか聞こえないな。

C だけど、誰だって、進んでやってるわけじゃないし。

D 禁止にすればいいんだよ。日本も。中絶は禁止。

C 私は、そういうのは嫌だな。息苦しいし。

B じゃあ、賛成？

C そうじゃなくて、そういう権利もあるって方が健全っていうか。国として禁止とか、なんか息苦しいってこと。

D それもわからないでもないけどな。確かに、国から禁止とか押し付けられるのって、違う気もする。だけど、だからといって、中絶とか、絶対に反対。

A (Eに) ねえ帰っちゃうよ、君の両親。一目、見なくていいの？

E いい。

A だって、君、両親の顔、知らないでしょ？ だって、この世の姿を見る前に、死んでしまったんだから。

E 本当に、いいの。だって、どんな感情が沸くのか、自分でもわからないから。生みの親を憎むことになったら、つらいよね。きつと。

C そうだね。よくないね。親を憎むのは、よくない。だからいいの。ありがとう。

B 許されるなら、二人をとつ捕まえて、問いただしたいね。何で君たちは、こんなに可愛い娘を・・・

C 過去を問いただされるのは、とてもつらいと思う。

B もちろん。だから、あえて、だよ。あえて、問いただしたい。なぜ、ふたりは殺したのかって。

C だから、殺すっていうのは、違うんだって。

E ねえ。

B ん？

E 生きているって、どんな感じがする？

B ん？

E だから、今、そこにあなたが生きているって、どんな感じ？呼吸して、心臓が動いていて、心も動いている？そういうこと？つまり。

E どうか。とにかく私は、生きているってことがどういうことか、わからないまま死んだから。

C それは難しい問題だね。普通だからね、私たちにとって。生きているってことは。息をしたり、することは。

救急車のサイレン。

D あ、うちの親かな。

しばらくして、ストレッチャーに乗せられたDの母が、分娩室へ運ばれていった。

A なんか、ドラマみたいだったね。ストレッチャーに乗

せられて、お医者さんと、看護師と、救急隊員が見守って
いて。

ほんとだね。

C
D
A
D
（時計を見て）マジか。

どうした？

D
あと、30分もないよ、私が生まれる時間まで。もう、頭、
半分出てきてるな、きつと私。（笑って）よく生まれたな、
私。よく無事に育った！私！どうだ！見てみる！私を！

E
ごめん、空気、悪くなったね・・・ごめんね。

A
いいの、いいの。ありがとう。

E
なぜ感謝されるの？

A
だって、生きてるってどんな感じ？って言われて、少しだ
け、生きてるって感じがしたから。わたし。

E
死にたくなるとき、ある？

A
そんな風に思っただけでもあった。

E
そうなんだ。

A
（全員に）死にたいと思ったことある人？

C、手を挙げる。

やがて遅れて、Bも手を挙げる。

D
マジですか？私、一回もない。

A
みんなありがと。

B、C、手を下す。

D
あるんだ、

B
あるよ。

D
へえ。意外。

B
あるね。っていうか、今も毎日思う。

C
相談した方がいいよ。

誰に？

カウンセラーとか。

相談するとどうなるわけ？

楽になる。

救ってくれるの？

どうだろ。あなたを救うのは、もしかしたら、あなた自身なのかもしれないから、わからない。

だね。

なんか、楽しそう。

え？

なんか、そういうの、楽しそう。

君、バカにしてる？こっちは、結構、マジなんだけど。

ごめん。そういうつもりじゃなかった。

E、最初に位置に座る。

他の人も、座る。

A ねえ、みんなで、ハッピーバースデーの歌、歌わない？

C いいね。

D え？なんか、ヤダ。

A どう？

B いいけど。

A 歌わない？

E うん。ありがと。

D ハッピーバースデー デイア のあと、どうするの。

A (歌ってみて) ハッピーバースデー デイア 私く でいいんじゃない？

D ダサ。

A じゃあ、ほかに何かがある？

C 名前は？まだわたしたち、名前で呼んでないから、それでもいいかも。

C あ、でも……(Eを気にする)

B 君、名前は？ある？(とEに) ある？名前。

E あるよ。一応。

B よかった。

E お母さんと、お父さんが、一応、つけてくれた。私の名前。

C どんな気持ちでつけたんだろうね。

B よかったね。

E うん。

A じゃあ、決まり。ハッピーバースデー デイアのあとには、

D それぞれ、自分の名前を言うことにしよう。じゃあ、いくな。せーの、

一同、歌を歌い、ハッピーバースデー デイアのあとには、自分の名前を言う。そして歌い終わる。

A お誕生日、おめでとう！

どこかから、おぎゃあという声。

D 私かな？

C 私？

A 私かも？

さらに、おぎゃあという声。

D 私？

C 私でしょ。

A 私？

B、ひとり深刻そうにしている、

A 平気？

B うん。

A 大丈夫？

B 大丈夫。ただ、本当に生まれてきてよかったのかな、って思うんだ。

A よかったに、決まってる。

B そうかな。

E 生きてるって、どんな感じ？

B 生きてるって？そうだな、辛くて、大変で、苦しい。

C だから相談した方がいいって。

B そうかもしれないね。

D 楽しいぞ！生きるって！

そこに、駆け込んでくる、Bの両親。

D お、また誰かやってきた。誰だ？

B 僕の親だよ。なんか、恥ずかしいな。みんなに見られるの。

C 確かに、恥ずかしいかも。

B ごめんね、

A 何で謝るの？

B なんとなく。こんな僕で、ごめんね。こんな風に生まれてきて、ごめんね、って思う。

D 謝ることはないだろ。

C お父さん、優しそうな人だね。どんな仕事してる人？

B 普通のサラリーマン、

C お母さんは？

B 普通。普通の主婦。

C とっても不安そう。

A 声をかけてあげたらどう？大丈夫、心配しないで。無事に生まれてくるから、安心してって。

B 本当に、よかったのかな。生まれてきて。

A 声、かけてあげてたら。

B 届くかな。

D いいんだよ、そんなこと、心配しなくて。届くかな？なんて、思う前に、まずは声をかければいいんだよ。

B お父さん、お母さん、もうすぐ生まれるんだね。ぼく。ごめん。だけど、ぼく、男の子のはずなのに、どうしても僕、男の子にはなれなかった。ごめんね、お父さん、お母さん。君、男の子なんだ。

A D 大丈夫だよ、謝らなくて。きっと理解してくれるよ。そうさそうさ。

B D 僕はずいぶん長いこと、悩んできたんだ。ずっと、ずっと。生きてるって、どんな感じがする？

B (ゆっくりEの顔を見て) ん？

E 生きてるって、どんな感じ？

B 辛くて、大変で、苦しい。

E 辛くて、大変で、苦しいの？

B そうだよ。

E じゃ、よかったんだね。生まれてすぐに、死んで。だって、辛くて、大変で、苦しいってことすら、知らないんだもの。そういう感情すらわからないんだもん。だから、よかったんだね、生まれてすぐにいなくなっって、私。ああ、よかった。

B そんな風に言わないでよ。悲しくなるよ。だから、そんな風に言わないでよ。

B、ひとり、たたずんでいる。

みな、その姿を見て。どこかで、産声があがった。

幕。